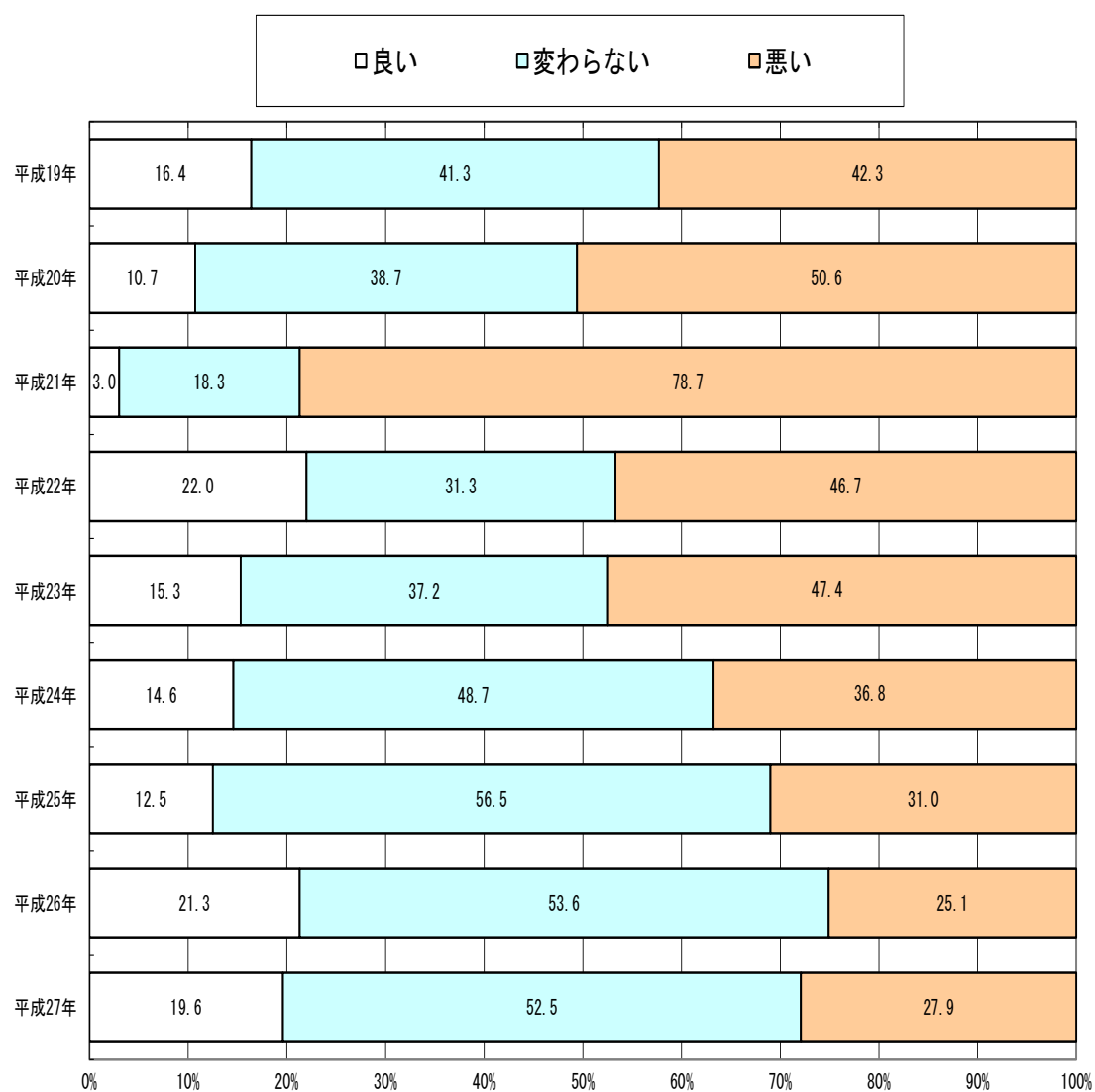


3. 経営状況

1年前と比べた経営状況について、「良い」とする事業所は、19.6%で、昨年（21.3%）より1.7ポイント減少した。また、「変わらない」とする事業所は52.5%で、昨年（53.6%）より1.1ポイント減少した。

一方、「悪い」とする事業所の割合は27.9%で、昨年（25.1%）より2.8ポイント増加した。

第5図表 経営状況（年度別）



次に、１年前と比べた経営状況について、製造業と非製造業を比較すると、「良い」とする事業所は、製造業１９．６％、非製造業２３．３％であった。一方、「悪い」とする事業所は、製造業３３．３％、非製造業２１．７％で、製造業は昨年（２７．６％）より５．７ポイント上回り、非製造業は昨年（２２．３％）より０．６ポイント下回っている。

業種別にみると、「良い」とする事業所の割合が最も高いのは、「対事業所サービス業」３３．３％、次いで「職別工事業」３０．３％、「対個人サービス業」２８．６％の順となっている。

一方、「悪い」とする事業所の割合が最も高いのは、「木材・木製品」４６．２％、次いで「繊維工業」４１．９％、「卸売業」３８．７％の順となっている。

規模別にみると、「良い」とする事業所の割合が最も高いのは、「１０～２９人」で２２．３％、一方「悪い」とする事業所の割合が最も高いのは、「１～９人」で３５．３％となっている。

第６図表 経営状況（業種別・規模別）

